

豊田高専 正員 栗本 謙
 “ “ 荻野 弘
 “ “ 〇川上 雅一

1. はじめに

前回の報告に続き、買物交通の発生原単位に関する基礎的研究の一環として、豊田市内のショッピングセンター（U店）之行、た買物動向調査について考察したものである。

2. 調査

2-1 調査店の概要 U店は、図-1に示すように豊田市域のほぼ中央部に位置しているが、周辺には比較的中規模な新興住宅地が散在しており、比較的近距离の購買客が多い店舗でもある。売場面積は、1F 810 m²、2F 920 m²、3F 943 m²の計2673 m²である。フロア構成は図-2に示すように、1Fが食品および日用雑貨であり、2Fが衣料品中心、3Fが電機製品、雑貨等となっている。

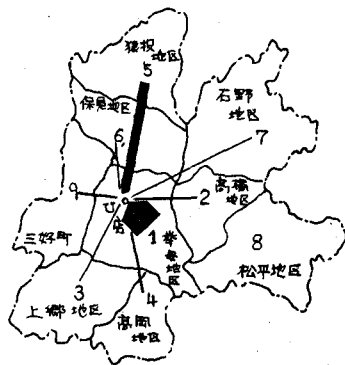


図-1 U店への買物客動向図 (6/25)

2-2 調査方法 中学生以上の全入店者に対して、アンケート用紙を入店時配布、出店時回収する方法をとった。調査日時は、昭和53年6月21日(水) 10:00~18:30、同6月25日(日) 9:30~18:30の2日間である。またこれと並行して、各入口(3ヶ所)において全入店者数を計測した。以下6月25日の結果について述べるが、調査内容、回収結果を表-1に示す。

3. 考察

3-1 回収結果 入店者数は4,103名で、うちアンケート配布件数1,458、有効回収件数960で有効回収率35.5%であった。U店の利用者は、U店所在の幸母地区が67.7%を占め、猿投地区16.8%と合計で84.5%を占めている。(図-1) また利用者世帯の年間所得は30~350万円が最も多く、18.4%、

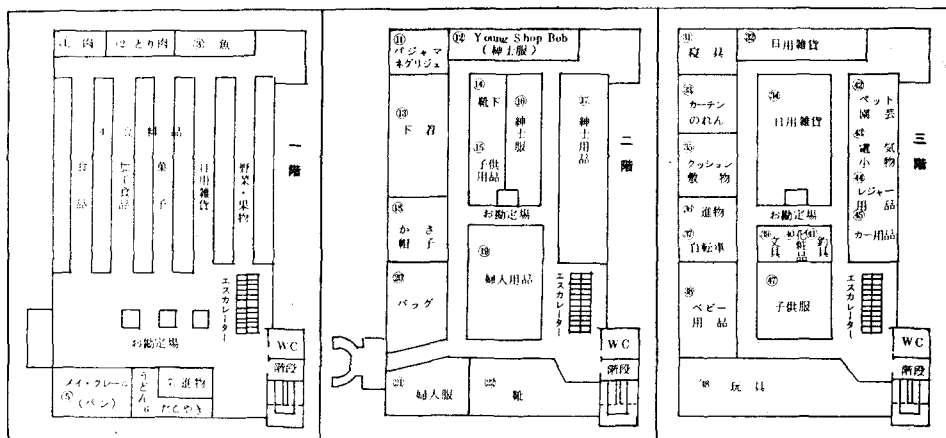


図-2 U店平面図

表-1 回収結果 (6/25)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
配布時刻		30	52	65	59	62	52	53	61	47	63	39	52	64	79	36	65	66	25
回収時刻	2	10	33	53	54	53	80	55	40	48	45	47	50	66	84	31	78	70	61
買物の有無		46	23	7	8	876													
性別	69	319	572																
年令		48	236	366	155	44	9												
地区名	68	604	26	1	16	150	21	3	—	32	31								
世帯収入	176	21	40	67	86	94	144	142	62	44	84								
利用回数	85	324	254	116	46	58	51	26											
職業	52	81	41	26	39	217	18	5	10	369	52	27	23						
買物理由	73	53	15	40	511	141	66	21	3	37									
他店へ行った	115	205	640																
他店へ行く	196	150	614																
交通手段	1	719	34	10	—	3	190	2	1										
運転者	51	393	257	18	1					240									
車種	50	605	33	25	—	2	5	—		240									
同乗者	52	93	197	166	173	37	2			240									
駐車場	57	646	17							240									
待ち時間	54	494	98	42	11	21				240									
フロア別		1020	317	352															

<凡例>

配布時刻	1 9:30~10:30	2 10:30~11:30	3 11:30~12:30	4 12:30~13:30	5 13:30~14:30	6 14:30~15:30
回収時刻	7 10:30~11:30	8 11:30~12:30	9 12:30~13:30	10 13:30~14:30	11 14:30~15:30	12 15:30~16:30
買物の有無	1 店頭のがたいで	2 他人と一緒に買った	3 その他の理由で買った	4 理由不明(買わない)	5 買った	
性別	1 男	2 女				
年令	1 10才以下	2 20~29	3 30~39	4 40~49	5 50~59	6 60以上
地区名	1 茅母	2 高橋	3 上野	4 高瀬	5 篠根	6 保見
世帯収入	1 100万円未満	2 101~150	3 151~200	4 201~250	5 251~300	6 301~350
利用回数	1 1~3/月	2 4~6/月	3 7~10/月	4 11~15/月	5 16~20/月	6 21~25/月
職業	1 専業主婦	2 専門	3 管理	4 自営	5 接客業	6 販売
買物理由	1 商品が豊富	2 専門店がある	3 値段が安い	4 近くに便利	5 駐車場がある	6 他店まで行かない
	7 店のふいばがい	8 エスがい	9 その他			

他店へ行った	1 行った	2 行かない			
他店へ行く	1 行く	2 行かない			
交通手段	1 自動車	2 自転車	3 ネットバイ	4 電車	
	5 バス	6 徒歩	7 プラン	8 その他	
運転者	1 家族	2 友人	3 友人	4 その他	
車種	1 軽自動車	2 軽自動車	3 ライトバン	4 マイク	
	5 大型トラック	6 小型トラック	7 軽トラック	8 その他	
同乗者	1 1人	2 2人	3 3人	4 4人	
駐車場	1 専用	2 その他			
待ち時間	1 なし	2 5分未満	3 5~10分	4 10~15分	
フロア別	1 1階	2 2階	3 3階		

「各項目で」カテゴリー=0は無記入、不明。

新運転者～待ち時間の9は不必要。

表-2 数量化II類による結果

項目	他店へ行った		他店へ行く	
	レンジ	レンジ	レンジ	レンジ
買物の有無	0.1851	2.1115		
性別	0.3393	0.1192		
年令	2.1309	1.3818		
地区	3.6486	5.3784		
世帯収入	0.9237	0.9815		
利用回数	1.4529	2.8205		
職業	2.2204	2.9288		
買物理由	4.2676	2.2833		

251~400 万円の所得範囲で全体の 48.5 % を占めている。利用回数は 1~3 月が最も多く 37.0 %、1~6 月で全体の 66.0 % を占めている。利用者の職業は主婦が最も多く 40.9 %、ついで技術・労働職が 24.1 % を占めている。U 店利用の理由としては、近くて便利が最も多く 57.6 %、ついで駐車場があるが 15.9 % を占めている。来店のための利用交通手段は自動車利用、75.0 % 徒歩、19.8 % が卓越しており、自転車利用 3.5 % を加えると全体の 98.3 % を占めている。また駐車待ち時間は、5 分未満が圧倒的に多く 74.2 %、5~10 分が 14.7 % であり、また平均駐車待ち時間は、約 2 分 30 秒であった。買物をした利用者の各フロア利用率は 1、2、3 F の順に 60.5 %、18.8 %、20.8 % の順となっており、食品、日用雑貨の購入割合の高いことがわかる。

3-2 数量化理論II類による分析 表-2 に数量化理論II類により算出したレンジを示すが、表より明らかなように、U 店へ来る前に他店に行ったか否かで、買物理由が最も大きく、また U 店へ来た後、他店へ行く予定か否かについては、地区の値が最も大きくなっている。